

精選動植物生薬配合

救心六神丸

生薬強心剤

第2類医薬品

六神丸は、古代、中国で創製された処方方で、その名称は、青竜、白虎、朱雀、玄武の四神に、勾陳、騰蛇の二神を加え、六神となしたことに由来しています。

そして、六神丸が日本に伝来するに及んで、逐次、処方に改良が加えられ、現在の六神丸が誕生したのです。

救心六神丸は、精選した蟾酥、牛黄、麝香等の六種の動植物生薬を適正に配合して製造された六神丸で、どつき、息切れ、気つけにすぐれた効きめを現わします。

⚠ 使用上の注意

❌ 守らないでください

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと

他の強心薬



相談する人

- 一、次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 - (一) 医師の治療を受けている人
 - (二) 妊婦または妊娠していると思われる人

- 二、服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談する人

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

- 三、五〜六日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

【効能】

○どつき

どつきは貧血や睡眠不足、酒やタバコのみ過ぎ、心身の疲労など、多くの原因によっておこります。しかし、わずかな運動でも感じるときは心臓の異常によることが多いので、注意が必要です。

○息切れ

息切れは肥満や貧血などでおこることもありますが、軽い運動で感じたり、運動後も長く続くのは、心臓の働きが悪くなっていることが考えられます。

○気つけ

気つけは、疲れて元気がないときに気力を回復させたり、暑さなどで頭がボーッとしたり、めまいや立ちくらみがしたときのような一種の脳貧血状態を改善する効果があります。

【用法・用量】

朝夕および就寝前に水またはお湯で服用すること

年齢	一回量	服用回数
大人(十五才以上)	三粒	一日三回
十五才未満	服用しないこと	

口中にとどめたり、かんだりせず、水またはお湯で服用すること(口中にとどめたり、かんだりすると成分の性質上、舌や口中にしびれ感がしばらく残ります。)

【成分】

九粒中に次の成分を含みます。

蟾酥五mg、牛黄二mg、麝香一mg、人参五・五mg、沈香二mg、動物胆三mg
添加物としてパラベン、アラビアゴム、カルメロース、薬用炭、ヒドロキシプロピルスターチを含有します。

〈成分の作用と特長〉

蟾 酥 シナヒキガエルの表皮腺の分泌物を乾固したもので、心筋に働いて拍動を強くします。

牛 黄 牛の胆のう中にごくまれに発見される褐色の小球塊で、心臓の拍動を強めます。

麝 香 麝香鹿の腺分泌物で、呼吸機能を高め、強心効果を現わします。

人 参 薬用人参の根を乾燥したもので、強壮作用により気力を高めます。

沈 香 シンチヨウゲ科の常緑高木の木部に樹脂が沈着した部分を採取したもので、芳香があり、気を鎮める作用があります。

動物胆 豚の胆汁で、消化器の働きをよくし、他の成分の吸収を助けます。

【保管および取扱以上の注意】

- (一)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること
- (二)小児の手の届かない所に保管すること
- (三)他の容器に入れ替えないこと
(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (四)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、左記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

〈電 話〉〇三―五三八五―三二二―(代表)

〈受付時間〉九時～十七時(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

東京都杉並区和田一丁目二十番一
救心製薬株式会社

